

# 校長室だより 第13号

校長 瀧 俊彰



## 一人ひとりが輝いた文化祭でした。

10月11日（金）に令和元年度文化祭が行われました。当日発表した学年劇は各学年とも夏休みから計画、準備を進めてきました。9月の体育祭が終わった後練習も本格化し、背景や大道具、小道具、衣装も着々と出来上がりリハーサルを経て本番を迎えます。それぞれの係を分担し、文字通り「全員で作る学年劇」の準備も万端となり、「一致団結 103人の気持ちはいつでも世界一」のスローガンのもとで文化祭が始まりました。



まずは2年生の合奏でスタートしました。琴、三線、ギター、ドラム、ピアノのコラボで美しい音色でした。10月末の連合音楽会にも出演する予定です。



続いて生徒会の活動報告で、7月に実施した、校区の小中学校の「山滝サミット」で話し合われたネット・スマホの使い方4か条や「当たり前のことを当たり前にする」という内容のビデオが披露されました。生徒会の活性化のために頑張る日ごろの活動がよく表されていました。



1年生の学年劇は「オズの魔法使い」。1年生らしいかわいらしい劇でした。声もよく出て大変立派でした。来年を楽しみます。



2年生の学年劇は「Annie」。有名な作品ですがダブルキャストや自分たちで考えたダンスの振り付けなどで劇を盛り上げました。



最後を飾った3年生の学年劇「プロフェッショナル 6人の男たち」。コミカルな部分もありテンポの良いセリフのやり取りは見事でした。またダンスも劇にアクセントをつける形になりました。最後の文化祭にかける3年生の気持ちは伝わってきました。



小規模校の特色を生かし、全校生徒103人全員で文化祭に取り組んだ過程は本当に素晴らしいものでした。観客としての態度も立派でした。また、生徒全員の作品も展示されました。全校生徒が達成感を感じてくれたと思います。その結果、思い出に残る、「一人ひとりが輝く」文化祭となったと確信しています。

最後になりますがご多用の中参観いただいた来賓、保護者、地域の皆様に厚く御礼申し上げます。

令和1年10月16日 岸和田市立山滝中学校